Panasonic

洗面ドレッシング

ウツクシーズ

取扱説明書

洗面化粧台

■品番一覧（△△の中には次のサイズ品番が入ります。750サイズ：75　900サイズ：90　1000サイズ：10　1200サイズ：12）

本体キャビネット	両開きタイプ	GQD△△UK□□K
	引出しタイプ	GQD△△UH□□K
	パノラマスライドタイプ	GQD△△US□□K
	ステップストッカータイプ	GQD△△UC□□K
	※1000,1200サイズに両開きタイプ、ステップストッカータイプの品揃えはありません。	
	□□の中には次の扉柄品番が入ります。 ダークグリーン：DZ　ビューティーホワイト：LW ビューティーブラウン：LM　ビューティーピンク：LP エクセルダーク：DE　エクセルライト：LE ホワイト：HW	

3面鏡	蛍光灯３面鏡タイプ		GQD△△U3SSMK
	LED主照明３面鏡タイプ		GQD△△U3LSM
	LED主照明両開き３面鏡タイプ		GQD△△U6LSM
	ツインラインLED３面鏡タイプ		GQD△△U3BEAM
	ツインラインLED両開き３面鏡タイプ		GQD△△U6BEAM
	※蛍光灯3面鏡タイプは750,900サイズのみとなります。		
1面鏡	１面鏡	H1800	GQD△△U1M
		H1950	GQD△△U1HM
	※1000,1200サイズに１面鏡タイプの品揃えはありません。		
	スイッチコンセントタワー	H1800	GQD06
		H1950	GQD07
	照明		GQD06H1

このたびは、洗面化粧台をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- ●水栓は、水栓に付属の取扱説明書をご参照ください。
- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「安全上のご注意」（4～7ページ）を、必ずお読みください。
- ●保証書は「お引き渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

保証書付き

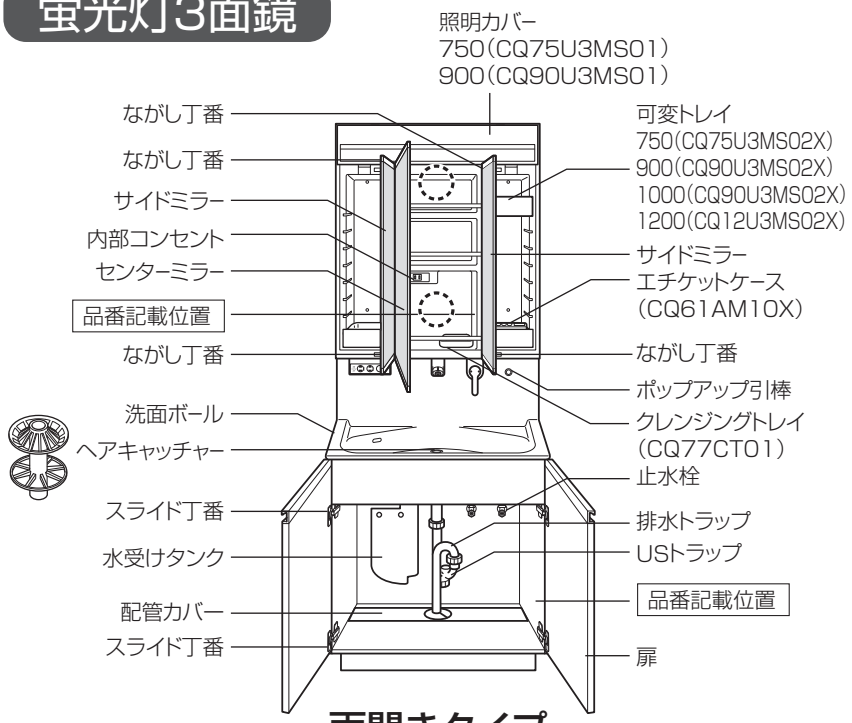
もくじ

各部のなまえ　・・・・・・・・・・・2
安全上のご注意　・・・・・・・・・・4
使用上のご注意　・・・・・・・・・・8
使いかた　・・・・・・・・・・・・・10
お手入れのしかた　・・・・・・・・・16
このようなときはQ&A・・・・・・・19
仕様　・・・・・・・・・・・・・・・26
洗面化粧台保証書　・・・・・・・・・27
保証とアフターサービス　・・・裏表紙
お客様ご相談窓口のご案内　・・裏表紙

NX74CB

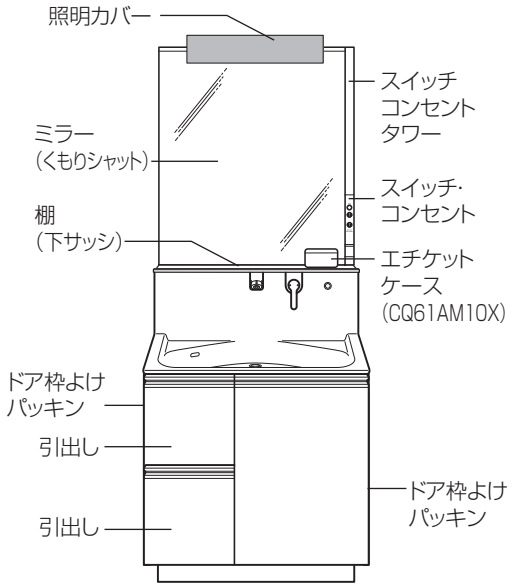
各部のなまえ

蛍光灯3面鏡



両開きタイプ

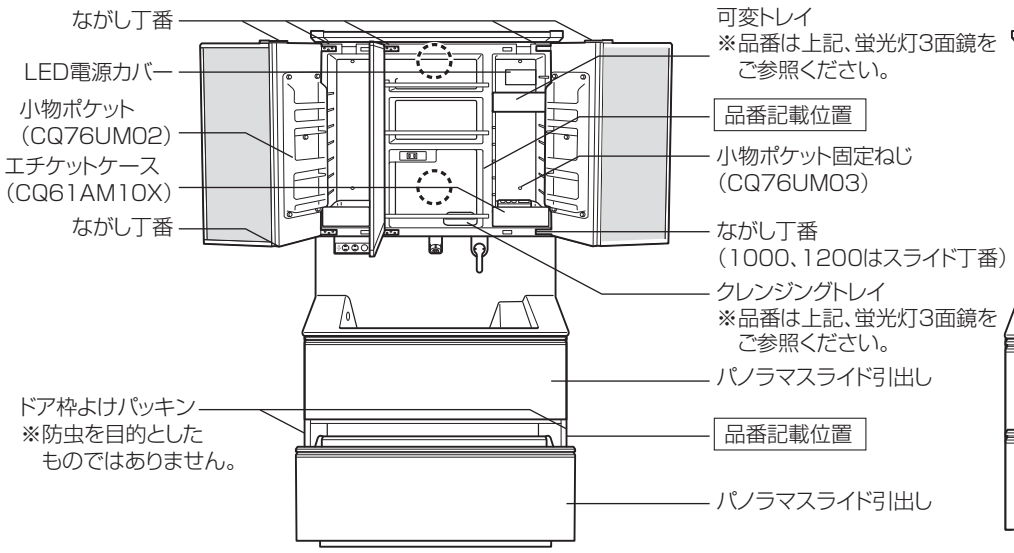
蛍光灯1面鏡



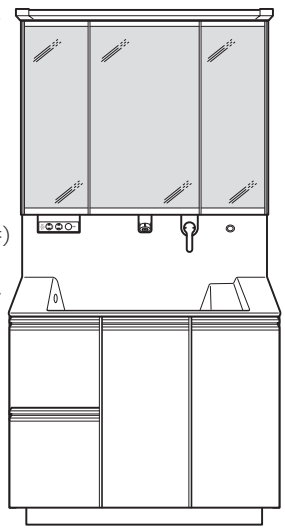
引出しタイプ

※◌部の凹み(2か所)は製品のゆがみ防止などで壁面への追加固定が必要になった場合の目印です。(750·900タイプのみ)

LED主照明両開き3面鏡



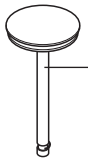
パノラマタイプ



引出しタイプ

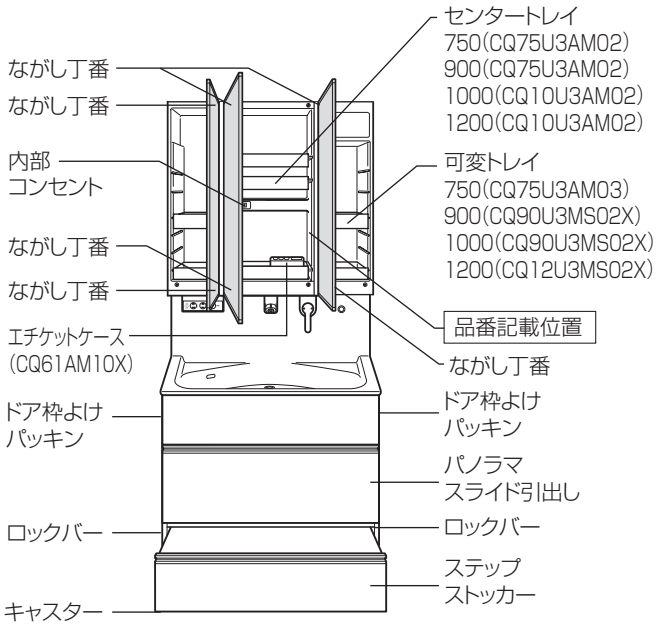
※◌部の凹み(2か所)は製品のゆがみ防止などで壁面への追加固定が必要になった場合の目印です。(750·900タイプのみ)

ヘアキャッチャー

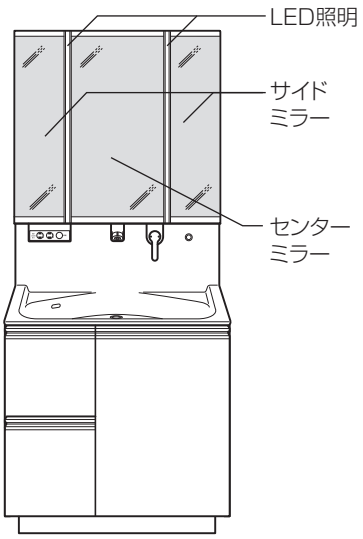


※(　　)内のCQではじまる品番は、補修部品の品番です。

ツインラインLED3面鏡



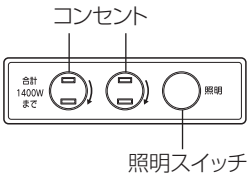
ステップストッカータイプ



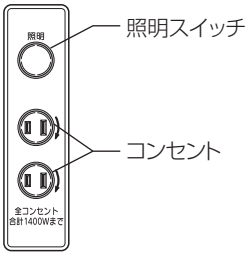
引出しタイプ

スイッチ・コンセント部

●3面鏡

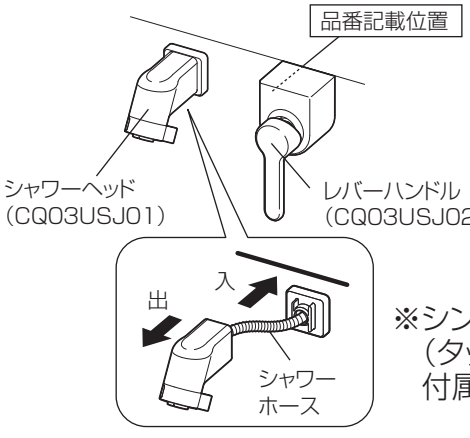


●1面鏡

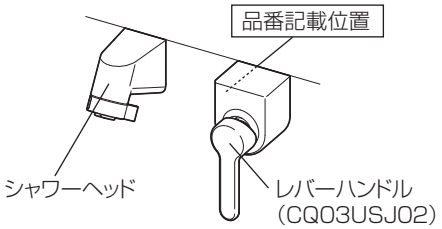


水栓

●シングルレバーシャワー混合水栓
（シャワーヘッド引出しあり）

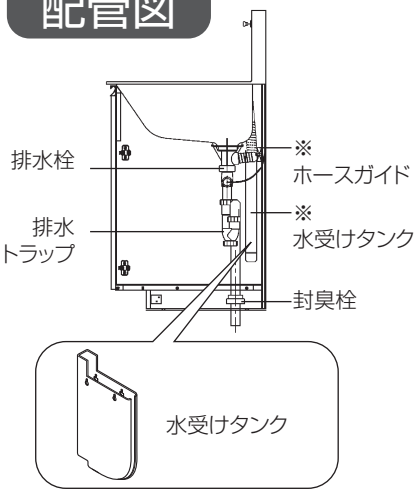


●シングルレバーシャワー混合水栓
（シャワーヘッド引出しなし）



※シングルレバーシャワー混合水栓
（タッチレスセンサー水栓）は、製品に
付属の説明書をご参照ください。

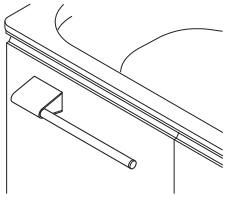
配管図



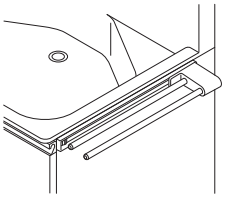
※は、「シングルレバーシャワー混合水栓（シャワーヘッド引出しなし）」では不要です。

オプション

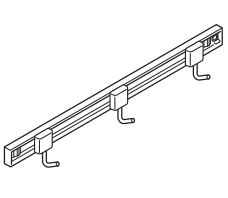
●タオルバー



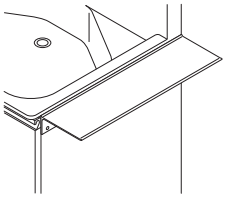
●スライドタオルバー



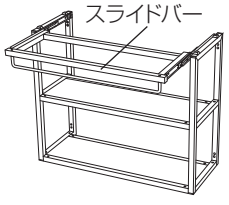
●フックバー



●サイドカウンター



●ランドリーラック



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

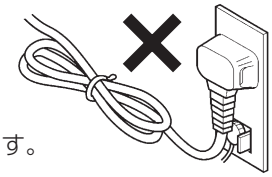
禁止

分解・修理・改造をしない
感電や故障の原因となることがあります。

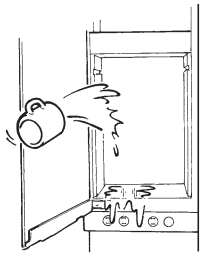
コンセントの表示容量(合計 1400W まで)を超える電気器具を使わない
合計 1400W を超えた場合、コンセント部およびコードが発熱して火災のおそれがあります。

小さいお子様だけで使用しない
思わぬ操作をし、転倒などによりけがをするおそれがあります。

電源コードをたばねたままで使わない
コードが発熱して、火災のおそれがあります。



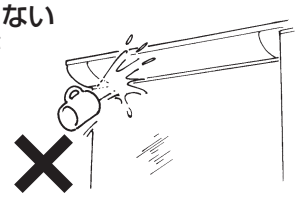
スイッチ・コンセントに水をかけたりぬれた手でさわったりしない
スイッチ・コンセントがぬれた場合、感電や漏電のおそれがあります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことをしない
感電や火災の原因となります。

照明に水・湯をかけない
感電や漏電のおそれがあります。



必ず守る

ドライヤーやヘアーアイロンなどは、十分に冷めてから収納する
近くの可燃物が発火したり、キャビネットが変形するおそれがあります。

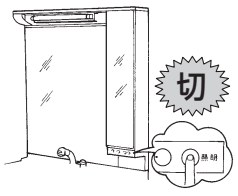
電動歯ブラシなどの充電式器具以外は、電源プラグを抜いて収納する
スイッチの切り忘れなどによる発熱や火災のおそれがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
確実に差し込まれていないと、漏電・感電・火災のおそれがあります。

電源プラグのほこりは定期的に取る
ほこりと湿気で絶縁不良となり、火災発生のおそれがあります。乾いた布でふいてください。

洗面化粧台の電源プラグは定格１５A・交流１００V の壁コンセントを単独で使う
火災の原因となります。

蛍光灯を交換する場合は、照明スイッチを切ってから行う
感電のおそれがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
火災や感電やけどのおそれがあります。

ランプは器具表示のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプ（ＬＥＤランプなど）を使用すると、火災のおそれがあります。

⚠注意

■ 共通

禁止

固形または粉末の塩素系洗浄剤、漂白剤は使ったり、近づけたりしない
※水や湿気に反応して発生するガスがステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化による水漏れの原因となります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

扉・ミラー扉や取っ手にぶら下がらない
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

扉・ミラー扉にもたれるなど大きな負荷をかけない
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

必ず守る

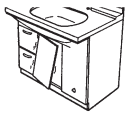
薬剤、洗剤類はそれぞれの注意表示にしたがう
破損して、けがをするおそれがあります。

組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る
使いかたを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となることがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作を行う
※操作について詳しくは水栓に同梱している取扱説明書をお読みください。
凍結破損で水漏れし、拡大損害のおそれがあります。

収納重量規定(耐荷重)を必ず守る
破損・変形により、けがをするおそれがあります。
落下事故や、けがの原因となります。
キャビネットの耐荷重は 13 ページをご参照ください。

扉・ミラー扉・小物ポケット扉が傾いたり、がたついているときは丁番のねじを締め直す
扉が落下し、けがをするおそれがあります。

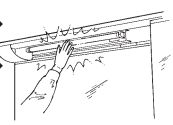


■ 蛍光灯･LED照明･電源プラグ

禁止

照明器具の上に物を載せない
落下・破損して、けがをするおそれがあります。

点灯中および消灯直後に蛍光灯にさわらない
やけどをするおそれがあります。



LED 照明部にぶら下がったり、力を加えない
照明器具やカバーが外れ、けがをするおそれがあります。

LED 照明部を長時間直視しない
目を傷めるおそれがあります。

■ ミラーキャビネット

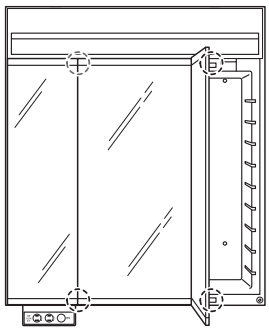
禁止

ミラーに手をついたり、もたれたりしない
ミラーが割れて、けがをするおそれがあります。

ミラー扉・小物ポケット扉の丁番には、潤滑油をささない
ミラーサッシなどが割れて、ミラーが落下し、けがをするおそれがあります。

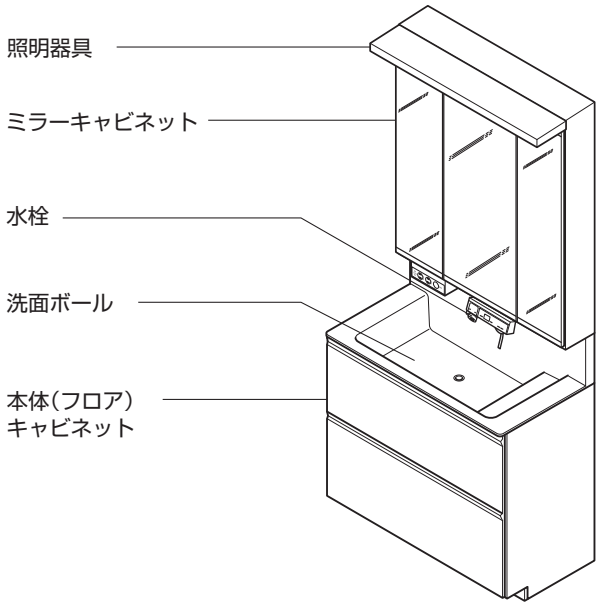
両開き３面鏡が設置されている横の壁には、タオルバーなどは設置しない
小物ポケット扉を開けたときに、ミラーがタオルバーなどにあたり、破損するおそれがあります。

ミラー扉の開閉時のがたつきが大きくなったり、ミラーサッシが破損したりした場合は、使用をやめる
ミラー扉が外れて、けがをするおそれがあります。



必ず守る

洗顔・洗髪は必ずミラー扉を閉めて行う
ミラー扉を開いた状態で行うと、ミラー扉に頭があたり、けがをするおそれがあります。



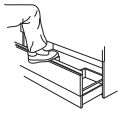
安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

■ 本体キャビネット

禁止

パノラマスライド引出しに乗ったり足をかけたりしない
レールの破損・転倒により、けがをするおそれがあります。



引出し収納物は引出し箱からはみださせない
給排水管に干渉して水漏れのおそれや、配線に干渉して断線のおそれがあります。

必ず守る

扉・引出し箱の開閉時、収納物が排水栓・止水栓にあたらないか確認する
排水栓・止水栓に収納物があたる場合、閉めた際に、排水栓・止水栓を変形させ、水漏れのおそれがあります。

扉や引出しを開閉する時は、周囲の物にあたらないよう気をつける
扉・引出し前板をぶつけて、破損したり、けがをするおそれがあります。

扉・引出し前板が傾いたり、がたついているときは、丁番ねじ・引出し箱取付ねじを締め直す
扉・引出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。

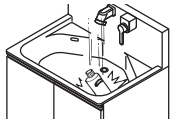
引出し前板ねじを締め付けるときは、手回しドライバーを使用する
電動ドライバーなどを使用すると、ねじが空回りし、引出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。

引出し箱と給排水管の間に物がおいていないか確認する
引出し箱と給排水管の間に物がはさまり、給排水管が押されて破損し、水漏れするおそれがあります。

■ 洗面ボール

禁止

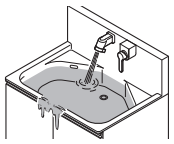
固い物を落とさない
破損して、けがをするおそれがあります。



カウンターの上に乗らない
カウンターが破損して、けがをするおそれがあります。

シンナーなどの有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤を流さない
排水栓・排水管が破損し、水漏れのおそれがあります。

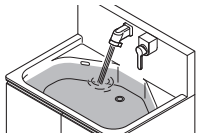
水栓から湯水を出したままにしない
水漏れ・水あふれの拡大損害の原因となります。



排水口に直接指を入れて清掃しない
内部の突起などでけがをするおそれがあります。

必ず守る

水をためるときは、水の出しかたをストレートにする
シャワー吐水の場合、波うちにより手前から水がこぼれるおそれがあります。



つけおき洗い洗濯をする場合、溜めた水の量を調整し、水があふれないようにする
あふれた水で、床・壁をぬらす原因となることがあります。

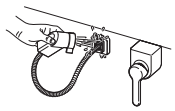
塩素系洗剤によるつけおき洗いは洗面ボールで直接行わず、洗面器などを使用する また、排水口に流したらその後、水を流して洗面ボールや配管の洗剤を流しきる
洗面ボールや配水管を痛め、水漏れの原因となります。

■ シャワーホース・排水トラップ・水栓

禁止

長期間シャワーホース内に滞留した水を飲用しない
長期間滞留した水は飲用に適さない場合がありますので、生活雑水に使用してください。

シャワーホースやホース引出し口に直接湯水をかけない
水漏れのおそれがあります。



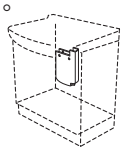
※シャワーホルダーから水受けタンク内にたまった水は定期的に抜いてください。
水受けタンクの取り外しかたは、17ページをご参照ください。

清掃時に排水トラップ・封臭栓を取り外さない
水漏れ・拡大損害の原因となります。

必ず守る

止水栓の袋ナットは確実に締め付け、水漏れがないか確認する
水漏れ、拡大損害の原因となります。

水受けタンクを定期的に確認し、水がたまったら、水を捨てる
漏水のおそれがあります。



U トラップの清掃後、水抜きキャップを確実に締める（水抜きキャップは手締めする）取り付け後、水漏れがないか確認する
水漏れ、拡大損害の原因となります。

止水栓の袋ナットをゆるめるときは、給湯管が十分冷めてから行う
お湯を使用した直後に給湯管に触れるとやけどのおそれがあります。

⚠注意

■ ステップストッカー

禁止

前板に足をかけて乗らない
前板が落下・破損して、
けがをするおそれがあります。

ロックバーを無理に動かしたり、ロックバーを持って製品を持ち上げたりしない
ロックバーが破損して、ロックがかからなくなり、
けがをするおそれがあります。

勢いよく乗ったり、上で飛び跳ねたりしない
転倒して、けがをしたり、踏み板などが破損する
おそれがあります。

本体キャビネットから取り外した状態で乗らない
ステップ部が動いて、けがをするおそれがあります。

踏み板上の注意ラインより奥に足を乗せない
踏み板と引出しとの間に指をはさんで、
けがをするおそれがあります。

必ず守る

完全に引き出し、ステップ部側面のロックが両側ともかかっていることを確認してから使用する
ステップ部が動いて、けがをするおそれがあります。

引き出すときは足元に注意する
ステップ部前板と床との間に指をはさんで、
けがをするおそれがあります。

踏み板を開閉するときは、指をはさまないように注意し、ゆっくりと静かに行う
ステップ部側板などと踏み板との間に
指をはさんで、けがをするおそれがあります。

出し入れは、手でゆっくり行う
勢いよく動かしたり足でけると、
指をはさんだりストッパーなどが破損して、
けがをするおそれがあります。

ステップ部と給排水管の間に物がおいていないか確認する
給排水管が押されて破損し、水漏れする
おそれがあります。

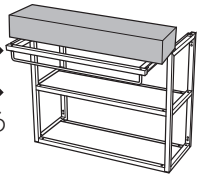
ステップ部に乗るときは、耐荷重(90 kg以下)を守る
重い物を持ってステップ部に乗ると、
キャスター部などが破損し、
けがをするおそれがあります。

■ オプション

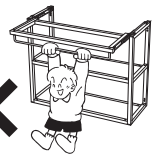
禁止

天袋の上に物を乗せない
落下事故のおそれがあります。

ランドリーラックのスライドバーの上に物を置かない
落下・破損により、けがをする
おそれがあります。

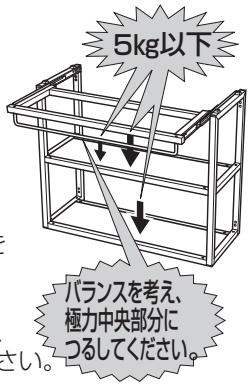


ランドリーラックのスライドバー、タオルバー、サイドカウンター、フックバーにぶら下がったり、よりかかったりしない
落下・破損により、けがをする
おそれがあります。

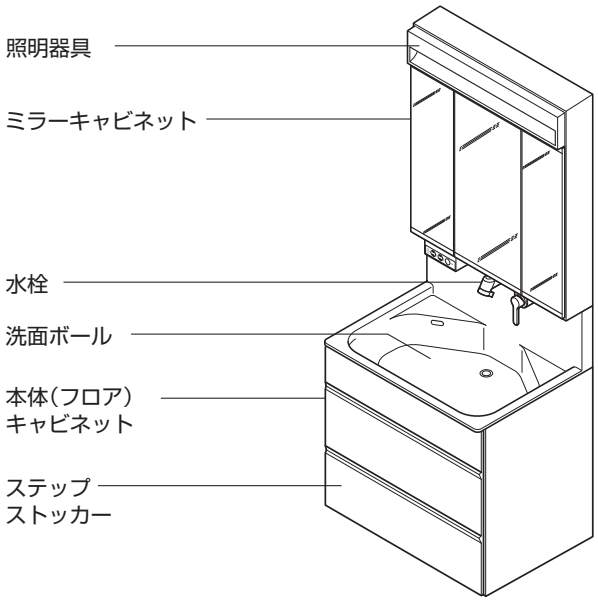


タオルバーに１kg以上、物をつるしたり、乗せたりしない
落下・破損により、けがをするおそれがあります。

ランドリーラックのスライドバーおよび棚には５kg以上、つるしたり乗せたりしない
片側にだけ極端によせてつるさない
落下・破損により、けがをするおそれがあります。



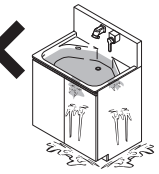
洗濯物の重さについては、
１５ページをご参照ください。



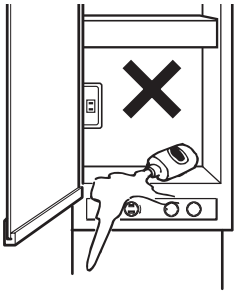
使用上のご注意

■ 共通

木部に水をかけたり、ぬれたまま放置しない
ふくれや変形の原因となります。



化粧品・除光液・毛染液・メイクおとし(クレンジング)がついた場合はすぐにふきとる
変色･変形･破損の原因となります。
※化粧品は、ミラーキャビネットのトレイの上に保管してください。
※化粧品が本体に付着すると、時間がたつにつれプラスチック表面を徐々におかしていき、変色･破損することがあります。
※最下段には必ずトレイを設置してください。
※センターミラー裏は家電収納部ですので、化粧品を直接おかないでください。



研磨剤入りの洗剤やナイロンたわしなどでの清掃はしない
製品表面に傷がつくおそれがあります。
※特にくもりシャットミラーは、ミラー表面に柔らかい吸水膜をコーティングしていますので注意してください。

有機溶剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤は使用しない
漏水や変色・破損・表面劣化の原因となります。
※みがき粉・シンナー・アセトン・カビとり剤・ベンジン・酸性洗剤は使用できません。

ストーブ・ヒーターなどを近づけない
変形・変色の原因となります。

ぬれたタオルをかけない
本体キャビネット・扉のふくれの原因となります。

ヘアドライヤーの熱風を直接あてない
変形・変色の原因となります。

金属類を放置しない
ヘアピン・カミソリなどを放置しないでください。
もらいサビの原因となります。

直射日光があたる場合は、必ずカーテンなどで遮る
変色の原因となります。

ラジオの雑音、テレビのちらつきなどの電波障害が発生する場合、テレビ・ラジオの距離を離したり、位置や向きを変えてみる

収納物は方寄りなく荷重が均等になるように入れる
片寄っていると本体底板、引出し箱などの変形、破損のおそれがあります。

■ LED照明

LED 照明部につかまるなど大きな力をかけない
破損の原因となります。

LED 照明部に水や洗剤をかけない
すき間から内部に浸入し、変色の原因となります。
※ついた場合はすぐにふきとってください。

LED 照明カバーを外さない
内部へのほこりの浸入などにより、変色や暗くなる原因となります。

手元の明るさが十分でないと感じる場合は、洗面室の照明を併用して使う

■ シャワーホース

破損・収納不良の原因となるので、シャワーホースを無理に引っぱらない
※シャワーホースが戻らなくなった場合は、キャビネットを開けて、水受けタンクの中にシャワーホース・ホースガイドを引き戻してください。

引き出したシャワーホースを戻すときは、ホースに片手を添えて戻す

■ ステップストッカー

ぬれた手や足でステップ部に触ったり踏板に乗ったりしない
踏板が変形したり収納物がぬれたりするおそれがあります。

ロックがかかったら、それ以上引き出さない
破損の可能性があります。

出し入れする際は、ステップストッカーの前に物やマットなどをおかない
キャスターが引っかかって引き出せなくなります。

■ 洗面ボール･カウンター･排水栓

洗面ボール内で刃物や先端が鋭利な物を使用しない
傷の原因となります。

お手入れの際に金属のたわしや硬いスポンジ、研磨剤入り洗剤、歯みがき粉などを使用しない
洗面ボール表面・排水栓に傷が付いて、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。

■ ミラーキャビネット

ミラーの水滴はすぐにふきとる
ミラーの腐食の原因となります。

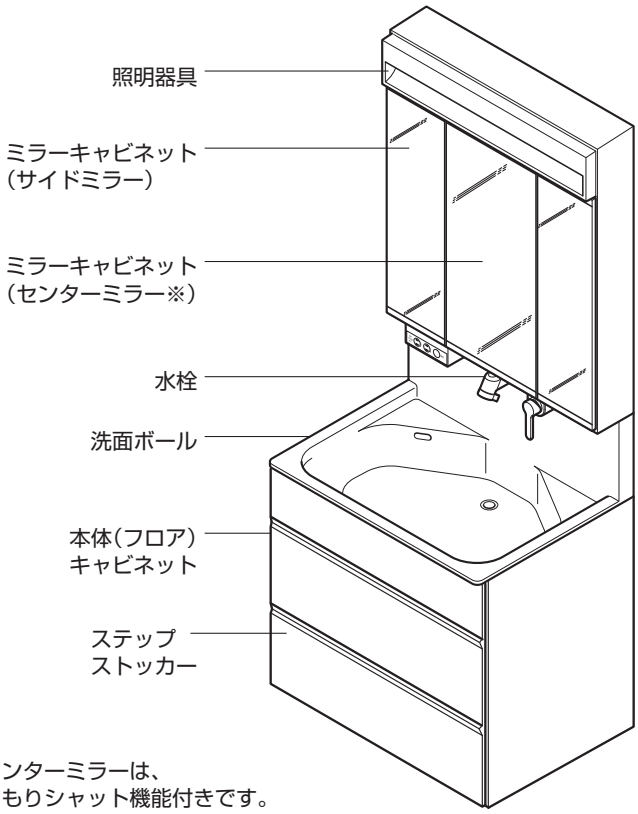
騒音を発生するものを収納しない
反響して大きな音になることがあります。

■ オプション

フックバーは突起部を持って動かさない
突起の先端には物をかけず必ず根元にかける
フック部破損の原因となります。

タオルバーにはタオルをよくしぼってからかける
本体キャビネット・扉のふくれの原因となります。

タオルバーをつかんで、扉・引出しを開閉しない
タオルバー破損の原因となります。



※センターミラーは、
くもりシャット機能付きです。

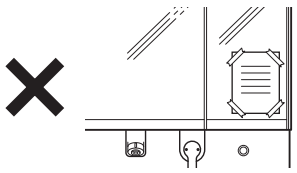
■ くもりシャットミラー

「くもりシャットミラー」は、ヒーターを使わないくもりにくいミラーです。
ミラーの表面の「柔らかい樹脂膜」が細かな水滴を吸収してくもりを押さえます。

- **日常のお手入れ**
  ミラーが汚れるとくもり止め効果が低下します。
  日ごろより「お手入れのしかた」にしたがって、
  「くもりシャットミラー」のお手入れをしてください。
  (16 ページ参照)

- **液体うがい薬・毛染液・化粧品などを付着させない**
  付いた場合、ぬれたタオルですぐにふき取ってください。
  くもり止め効果の低下や変色・変形の原因になります。
  (19 ページ参照)

- **ミラー表面に、テープ・シール・ジェル状の飾り、吸盤などを貼らない**
  ミラー表面が変色(着色)したり、粘着材によりくもり止め効果がなくなります。



- **お風呂の蒸気などを急激に付着させない**
  一時的にくもりが発生することがあります。

- **蒸気が触れ続けるような使用はやめる**
  くもりが発生する場合があるので、ミラー表面をきれいなタオルでふいてください。

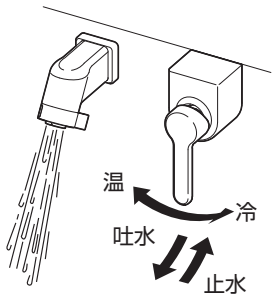
- **傷や色が付いたところを強くこすらない**
  傷の部分から樹脂膜がはがれるおそれがあります。

- **3面鏡のサイドミラーの掃除**
  一般のミラーを使用しています。汚れがついた場合、水で5倍に薄めた無色透明な食器用洗剤(中性)をつけた柔らかいきれいな布で軽くふいてください。

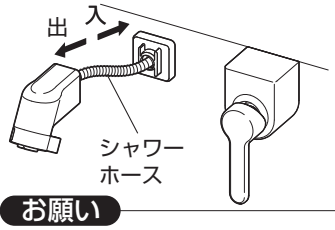
使いかた

■水栓
※詳しい取扱方法は水栓の取扱説明書をご参照ください。
※シングルレバーシャワー混合水栓（タッチレスセンサー水栓）の使いかたは、製品に付属の説明書をご参照ください。

シングルレバーシャワー混合水栓（シャワーヘッド引出しあり）



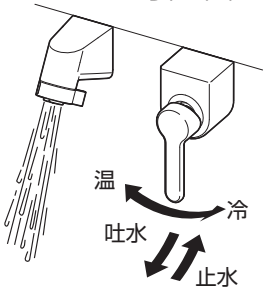
※シャワーヘッドが引き出せます。



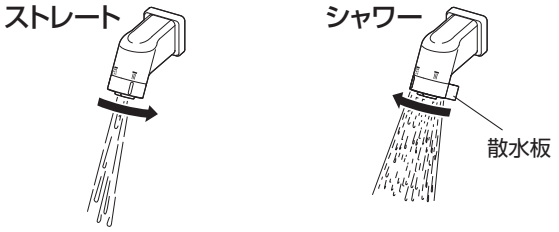
お願い
- 収納するときはホース根元に手を添えて収納してください。

シングルレバーシャワー混合水栓（シャワーヘッド引出しなし）

※シャワーヘッドが引き出せません。

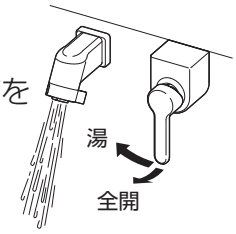


ストレート／シャワーの切り替えかた



給湯器がガス瞬間湯沸器の場合

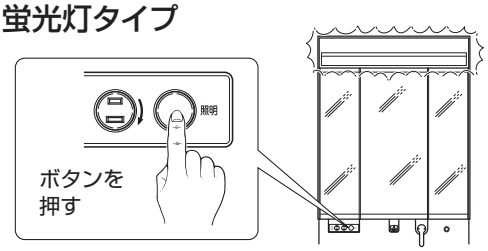
1. 流量を全開にする。
2. 瞬間湯沸器の温度調節を“高”にする。
3. レバーハンドルで湯温調節する。



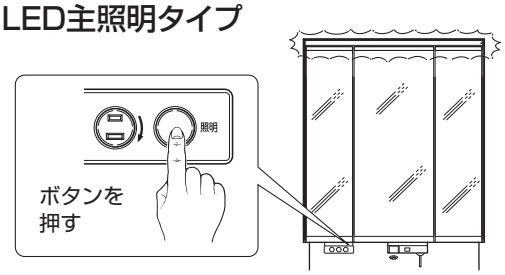
■ミラーキャビネット
※ミラー扉の開閉時にまさつで細かい黒い粉が発生しますが、異常ではありません。

照明を点灯する

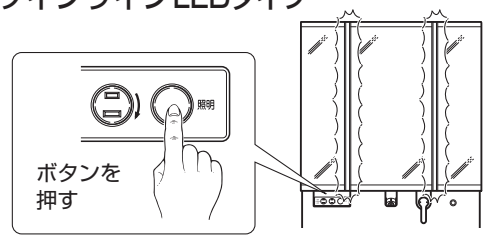
■蛍光灯タイプ



■LED主照明タイプ



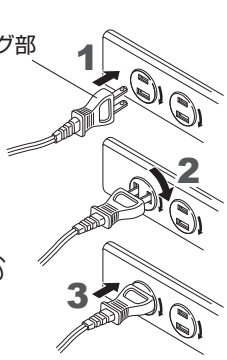
■ツインラインLEDタイプ



コンセントを使う

※コンセントは、回転式になっています。
下記の手順でご使用ください。

1. 電源プラグ部を持って軽く差し込む
2. 右に90°まわす
3. 奥までしっかり差し込む



※コンセントを外すときは電源プラグ部を持ってまっすぐ引き抜いてください。

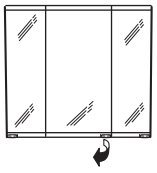
⚠警告

コンセントの表示容量（合計 1400W まで）を超える電気器具を使わない
合計 1400W を超えた場合、コンセント部およびコードが発熱して火災のおそれがあります。

■ミラーキャビネット

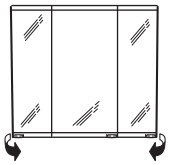
ミラー扉の開けかた

1 センターミラーを開ける



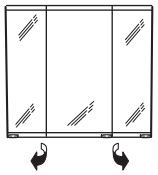
収納物の出し入れ

2 外側から内側に開ける（サイドミラー）



身だしなみのチェック

3 両開き3面鏡タイプのみ内側から外側に開ける（サイドミラー）



収納物の出し入れ

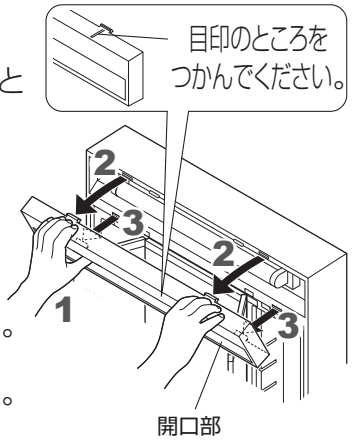
照明カバー（3面鏡タイプ）

取り外しかた

1 照明カバーの上面と開口部上面を軽くつかむ。

2 カバー上面を軽く下方向に押しながら上側のツメを外す。

3 下側のツメを外す。

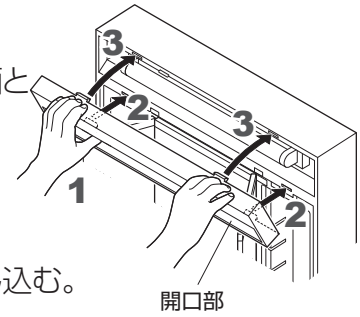


取り付けかた

1 照明カバーの上面と開口部上面を軽くつかむ。

2 下側のツメを差し込む。

3 上側のツメを差し込む。



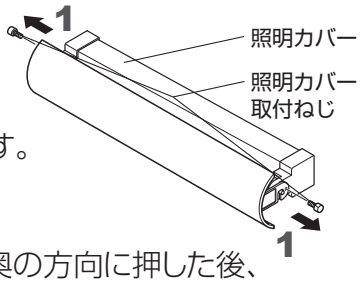
お願い

●照明カバーの落下の原因となりますので、照明カバーを確実に固定してください。

照明カバー（1面鏡タイプ）

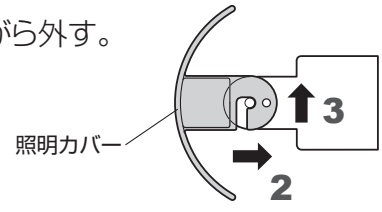
取り外しかた

1 照明カバー取付ねじ（2か所）を外す。



2 照明カバーを奥の方向に押した後、

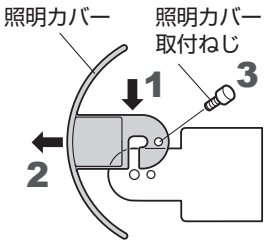
3 上にあげながら外す。



取り付けかた

1 照明器具の凸部と、照明カバーの切欠きをあわせて、下におろす。

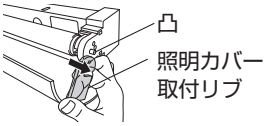
2 照明カバーを手前に引き、照明カバー取付ねじの穴をあわせて、ねじを取り付ける。（そのとき、角度にあわせて、ねじをねじ穴にあわせて取り付けてください。）



お願い

●照明カバーの落下防止のため点検後、照明カバーを確実に固定し、がたつきがないことを確認してください。

※照明の上方に天袋などがあるときは、照明器具サイドキャップの凸をよけるように、照明カバー取付リブを外側に広げて、取り付け·取り外ししてください。



LED照明·ツインラインLED照明

■LEDは蛍光灯などの一般光源と比較してばらつきがあるため、個々のLEDで発光色・明るさが異なる場合があります。

使いかた

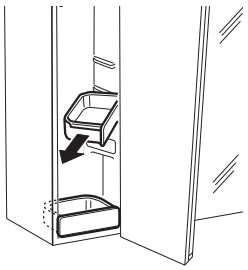
■ミラーキャビネット

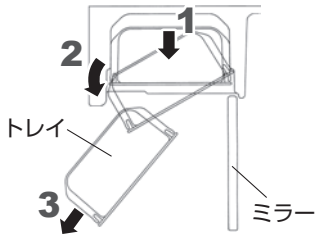
可変トレイ・センタートレイ（ツインラインLEDタイプ）

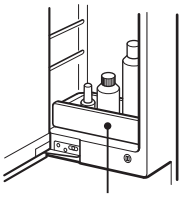
取り外しかた ※取り付けるときは、取り外すときと逆の手順で取り付けてください。

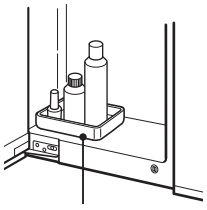
〈3面鏡タイプ可変トレイ、センタートレイの場合〉

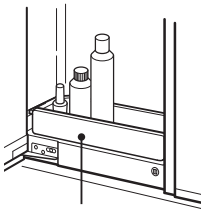
1 トレイを手前に引き出す。
2 ミラーの反対側を手前に回転させる。
3 引き出す。






可変トレイ

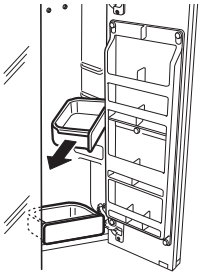

クレンジングトレイ

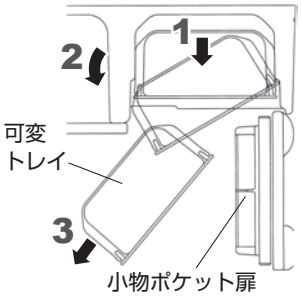

センタートレイ

※ツインラインLEDタイプにはクレンジングトレイは付属しません。

〈両開き3面鏡タイプ可変トレイの場合〉

1 可変トレイを手前に引き出す。
2 中央のミラー側を手前に回転させる。
3 引き出す。





お願い

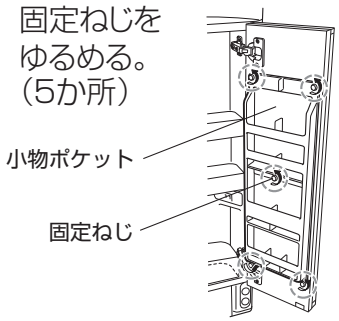
- 可変トレイ·センタートレイには1kg以上、物を乗せないでください。
- 化粧品は可変トレイ·センタートレイやクレンジングトレイの上に収納してください。本体ミラー裏最下段·固定棚部には必ずトレイをおいてください。化粧品の液だれでミラーキャビネットが破損するおそれがあります。付着したときはすぐにふき取ってください。

小物ポケット（両開き3面鏡タイプ）

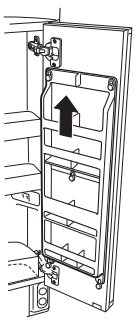
※ツインラインLED両開き3面鏡タイプの750サイズには付属しません。

取り外しかた

1 固定ねじをゆるめる。（5か所）



2 小物ポケットを上にずらす。



3 小物ポケットを手前に引き出す。

※取り付けるときは、取り外すときと逆の手順で取り付けてください。

⚠注意

必ず守る

- **小物ポケットを外す前には、必ず小物ポケット内の収納物は取り除く**
  収納物が落下し、破損するおそれがあります。
- **小物ポケットの固定ねじは確実に締める**
  ゆるみがあると、小物ポケットの破損し、収納物が落下してけがをするおそれがあります。

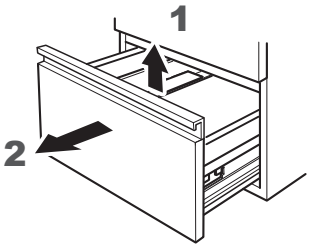
■本体キャビネット

パノラマスライド引出し(パノラマタイプ・ステップストッカータイプ)

取り外しかた

1 引出しをストッパーがかかるまで引き出した後、「ガチッ」と音が鳴るまで上に持ち上げる。

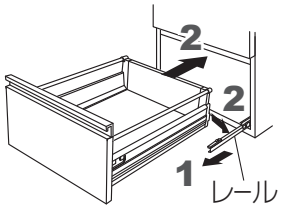
2 そのまま手前に引く。



取り付けかた

1 左右のレールを引き出す。

2 引出し箱をレールに載せて中へ押し込む。
(取り付け後、スムーズに動くか確認する。)



⚠注意

必ず守る

引出し箱と給排水管の間に物がおいてないか確認する

引出し箱と給排水管の間に物がはさまり、給排水管が押されて破損し、水漏れするおそれがあります。

サイドキャビネット450のスライド引出し

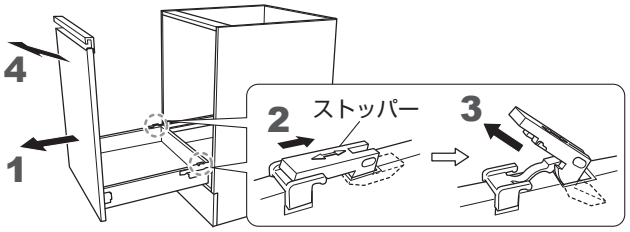
取り外しかた

1 引出しを全開にする。

2 ストッパーを後方に押す。

3 ストッパーを引き抜く。

4 引出しを斜め上方に引き抜く。

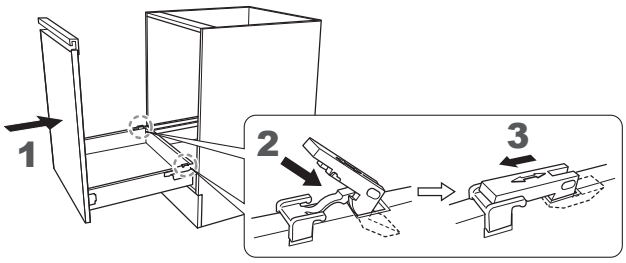


取り付けかた

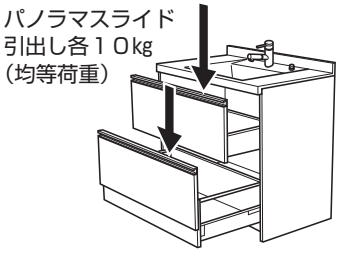
1 ストッパーを外した状態で、引出しをレールに載せ、軽く押し込む。

2 ストッパーを差し込む。

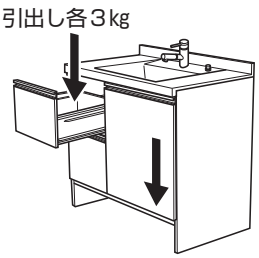
3 ストッパーを前方に引く。



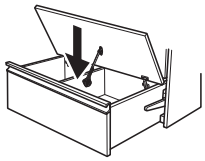
収納重量規定(耐荷重)



ステップストッカーの
ステップ部は5kg
(均等荷重)



本体底板10kg
(均等荷重)



ミラー棚	1kg以下
ミラー小物ポケット	0.8kg以下
サイドキャビネット棚	5kg以下
本体用天袋固定棚	10kg以下
本体用天袋可変棚	5kg以下
サイドキャビ用天袋棚	5kg以下
サイドカウンター	5kg以下
タオルバー類・フックバー	1kg以下

お願い

●**収納物は片寄りなく荷重が均等になるように入れてください**

片寄っていると本体底板、引出し箱などの変形、破損のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

収納重量規定(耐荷重)を必ず守る

破損・変形により、けがをするおそれがあります。
落下事故や、けがの原因となります。

使いかた

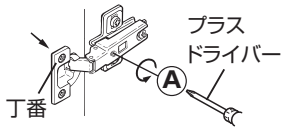
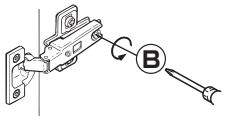
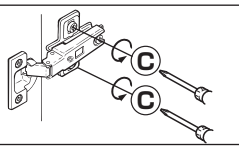
■本体キャビネット

ミラー・引出し前板の調整方法

⚠注意

必ず守る

- **ミラー･引出し前板が傾いたり、がたついているときは、丁番ねじ･引出し箱取付ねじを締め直す**
  ミラー･引出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。
- **引出し前板ねじを締め付けるときは、手回しドライバーを使用する**
  電動ドライバーなどを使用すると、ねじが空回りし、引出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。

扉の状態	左右に傾いた	扉が前後に傾いた	扉が下がってきた
調整方法			
Ⓐを回すと矢印の方向に動く	Ⓑをゆるめて扉を前後に移動させ、しっかり締める	Ⓒをゆるめて扉を上下に移動させ、しっかり締める	

お願い 引出しを抜いてキャビネットを施工した後は、サイズが同じでも必ず引出しを各々元の場所に戻してください。

●引出し前板が傾いているとき

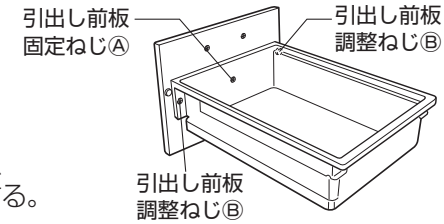
1 引出し前板固定ねじⒶおよび、引出し前板調整ねじⒷをゆるめ、傾きを修正する。

●引出し前板が上下方向にずれているとき

1 引出し前板固定ねじⒶを外す。

2 引出し前板調整ねじⒷをゆるめ、引出し前板の上下位置を修正する。

●修正後はねじを締めてください。

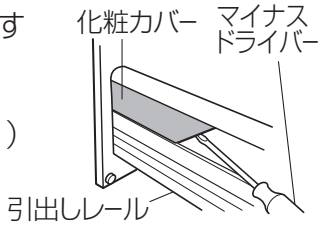


パノラマスライド引出し前板の調整方法(パノラマタイプ･ステップストッカータイプ)

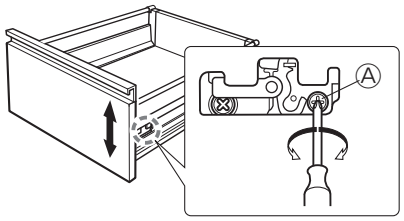
引出し箱を裏返し、引出し前板と引出し底板を連結しているL金具を外してください。調整後、再び取り付けてください。

上下の調整

1 引出しレール側面の化粧カバーを取り外す
(引出しレールと化粧カバーのすき間にマイナスドライバーを差し込み、マイナスドライバーをひねってください。)
※化粧カバーを外す際、飛ばさないよう注意してください。



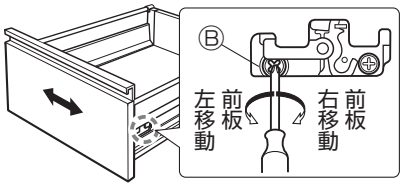
2 左右の調整ねじⒶを回して、上下方向の調整をします。



(上下 ±2㎜)

左右の調整

2 左右の両側の調整ねじⒷを回して、左右方向の調整する。



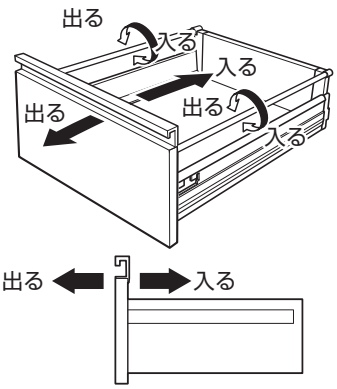
※左側の調整ねじⒷは逆に回してください。

(左右 ±1 ㎜)

3 化粧カバーをつける。

傾き調整

左右のガイドパイプを回して調整する。



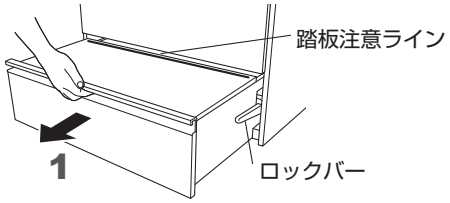
お願い

- 引出し箱のすき間の原因となりますので、回しすぎないようにしてください。

お願い 調整後、がたつきがないか確認してください。

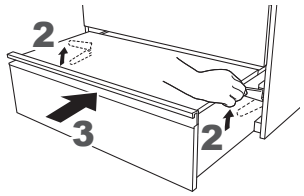
■ステップストッカータイプ

1 取っ手の中央部を持って、
ステップ部を一番手前まで引き出す。
※踏板注意ラインが完全に見えるまで
引き出してください。
※ステップ部側面のロックバーが両側とも
かかっているか、ステップ部を軽く押して
確認してください。



2 使用後、ステップ部側面のロックバーを
持ち上げ、ロックを外した状態でステップ部を
少し奥に押す。
（ロックバーを下げてもロックされないことを確認する）

3 取っ手の中央を押して、ゆっくりと収納する。

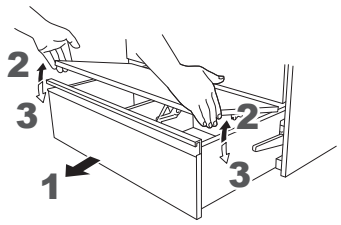


収納部

1 ステップ部を一番手前まで引き出す。

2 踏板の手前両側を両手でつかんでゆっくりと持ち上げる。

3 使用後、踏板の端を持ち、ゆっくり降ろして閉める。

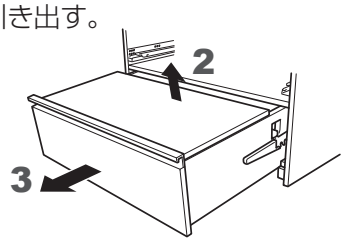


取り外しかた

1 上部パノラマスライド引出しを取り外す。
※詳しくはパノラマスライド引出しの
取り外しかた参照。

2 ステップ部を半分まで引き出した状態で、
後ろを上げる。

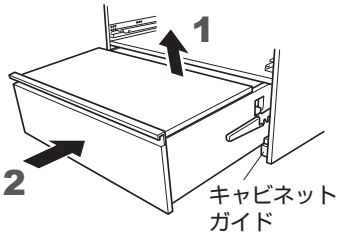
3 ステップ部の後ろを上げたまま
手前に引き出す。



取り付けかた

1 ステップ部の後ろを上げる。

2 ステップ部の後ろを
上げた状態で、キャビネット
ガイドを乗り越えるように
中へ押し込む。



3 上部パノラマスライド引出しを取り付ける。
※詳しくはパノラマスライド引出しの取り付けかた参照。

⚠注意

必ず守る

ステップ部と給排水管の間に物がおいてないか確認する
給排水管が押されて破損し、水漏れするおそれが
あります。

■ランドリーラック

〈ご参考〉洗濯物の重さ（当社調べ）

※素材や脱水時間により差があります。
※ハンガーは1つ50gとしています。

	乾燥時	洗濯脱水時
長袖ワイシャツ（混紡）	200g	約250g
半袖ワイシャツ（混紡）	160g	約200g
Tシャツ（綿）	150g	約200g

	乾燥時	洗濯脱水時
タオル（綿）	70g	約150g
バスタオル（綿）	300g	約500g
トレーナー（綿）	500g	約900g
ジーパン（綿）	500g	約1000g
スカート（混紡）	400g	約600g
子供用ズボン・スカート（混紡）	200g	約300g

⚠注意

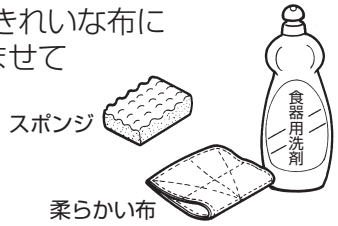
禁止

**ランドリーラックのスライドバーおよび
棚には5kg以上、つるしたり乗せたり
しない**
片側にだけ極端によせてつるさない
落下・破損により、けがをする
おそれがあります。

お手入れのしかた

■日常のお手入れ

スポンジ、柔らかいきれいな布に
中性洗剤をしみ込ませて
ふきとる。



※くもりシャットミラー、一般ミラーには無色透明な食器用洗剤（中性）を水で5倍に薄めて使用してください。（浴室用洗剤は使用しないでください）

※みがき粉･シンナー･アセトン･カビとり剤･ベンジン･酸性洗剤は使用できません。

お願い

- 表面がおかされたり、変色するおそれがありますので、清掃するとき、シンナーなどの有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤を使用しないでください。
- 表面を傷つけますので、研磨剤入り洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。

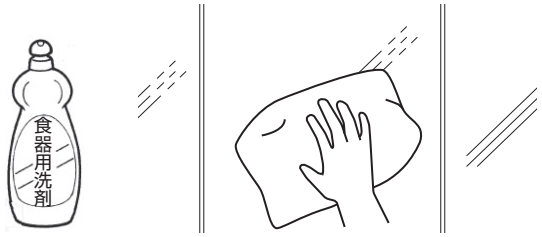
洗面ボール

汚れが取れにくい場合は、浴室用洗剤（水アカ除去用中性タイプ）やハンドソープなどをつけたスポンジで、汚れをふき取ってください。

※使用環境や汚れの種類、洗剤やハンドソープの種類によっては、汚れが落ちにくい場合があります。

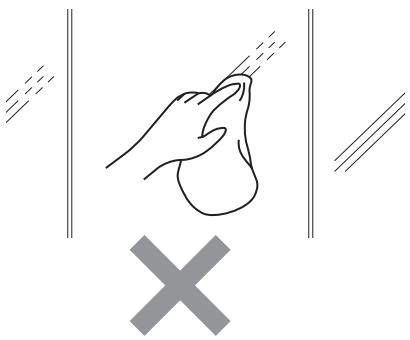
くもりシャットミラー

- 「くもりシャットミラー」はミラーの表面に水アカなどの汚れがつくとくもり止め効果が低下します。
- ミラーの表面の「樹脂膜」を傷めないために、水で5倍に薄めた無色透明な食器用洗剤（中性）を付けた柔らかいきれいな布で軽くふいてください。

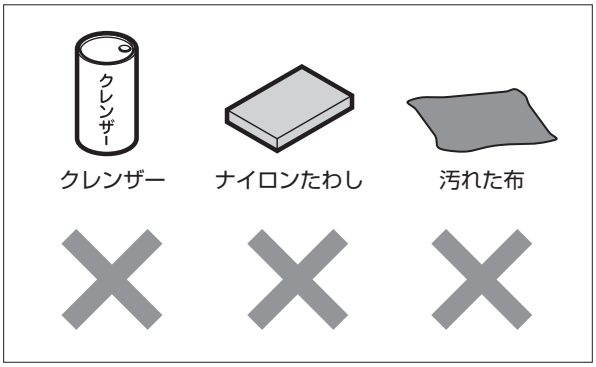


※無色透明な食器用洗剤（中性）を5倍に薄めて使う。

- 指先で強くこすらないでください。



- 「くもりシャットミラー」専用洗剤も用意しております。
  詳しくは、「このようなときはQ&A」をご参照ください。（19ページ参照）
- 以下の用具や洗剤は、ミラーの表面を傷つけるおそれがあります。使用しないでください。



※ミラー表面に傷が付いたり、変色(着色)した場合は、補修できません。
有料による部品の交換になります。
お客様相談窓口（裏表紙）にお電話でご相談ください。

■定期的なお手入れ

水受けタンクの水位の確認　※「シャワーヘッド引出しあり水栓」が対象です。

〈水受けタンクの取り外しかた・取り付けかた〉

1 シャワーホースを引き出す

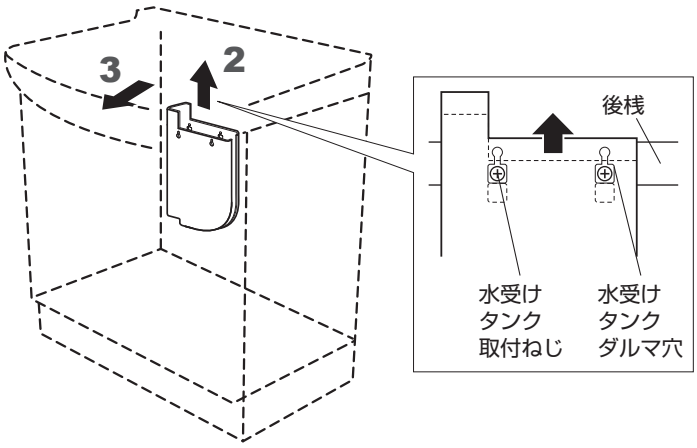
2 水受けタンクを上方に持ちあげる

3 水受けタンクを手前に移動させる

※水受けタンクは、シャワーホースからのつたい水を受けたり、シャワーヘッド接続部の劣化による漏れ水を受けるためのものです。
水受けタンクに頻繁に水が溜まる場合は、24ページを参照し、水漏れ部位の確認をしてください。

⚠注意

必ず守る　**水受けタンクを定期的に確認し、水がたまったら、水を捨てる**
漏水のおそれがあります。

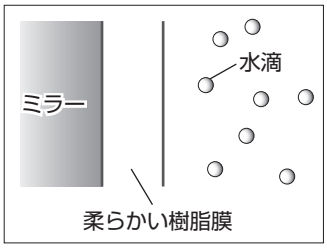


くもりシャットミラー

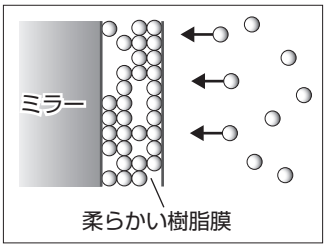
本製品の3面鏡・両開き3面鏡のセンターミラーと1面鏡のミラーには、くもりにくい「くもりシャットミラー」を使用しています。

●しくみ

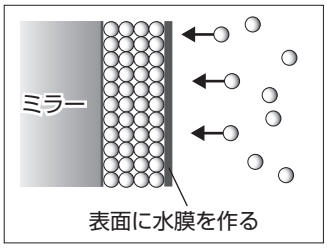
「くもりシャットミラー」は、ミラーの表面の「柔らかい樹脂膜」が細かな水滴を吸収してくもりをおさえます。



お風呂上がりの湿気（水蒸気）が、洗面所内に放出されます。



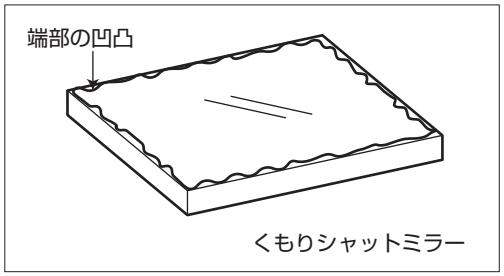
ミラー表面の柔らかい樹脂膜が、水分を吸水し、くもりにくくします。

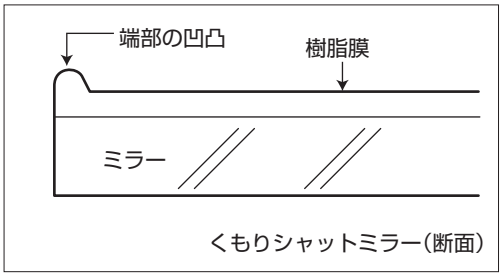


水分が満水になっても、水膜を作るため、くもりにくくします。

●端部の凹凸について

「くもりシャットミラー」はミラー表面の「柔らかい樹脂膜」のためミラーの端部に凹凸があります。





お手入れのしかた

排水口

⚠注意

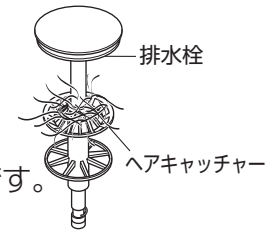
禁止

排水口に直接指を入れて清掃しない
内部の突起などでけがをするおそれがあります。

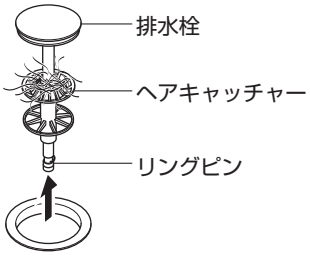
ヘアキャッチャー（定期的に確認してください。）

ヘアキャッチャーにごみがたまりましたら、取り除いてください。
水がボールからあふれ出す原因となります。

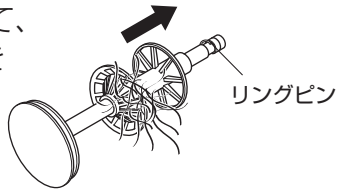
※ヘアキャッチャーは、
ごみの流出による
排水管のつまり防止と、
コンタクトレンズなどの
流出防止のための部品です。

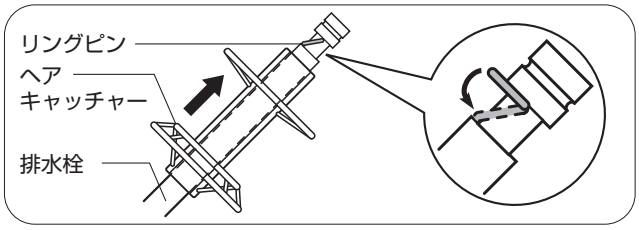


1 ヘアキャッチャーを
本体から取り外す。

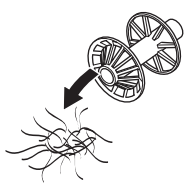


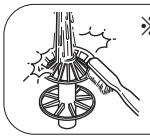
2 リングピンを倒して、
ヘアキャッチャーを
排水栓から外す。



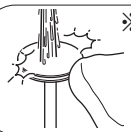


3 ヘアキャッチャーの
ごみを取り除く。



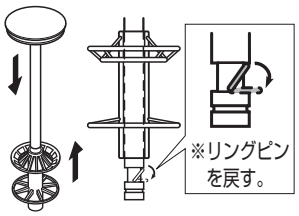


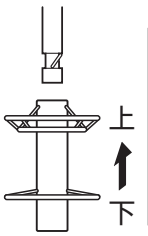
※定期的に
ハブラシなどで
清掃して
ください。



※排水栓は
柔らかい
スポンジなどで
洗ってください。

4 ヘアキャッチャーを
排水栓に差し込んで
リングピンを元に戻す。

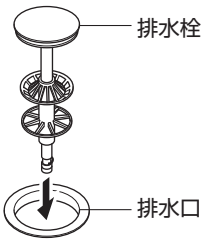




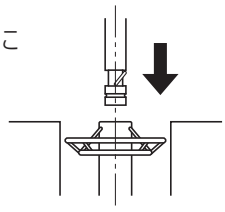
お願い
ヘアキャッチャーの上下を確認してください。
上下反対に取り付けると、ごみがキャッチできなくなったり、排水栓が閉まらなくなったりします。

5 排水栓を
排水口に差し込む。

お願い
ポップアップ引棒を操作し、排水栓が上下に動作するか確認してください。



※ヘアキャッチャーだけが排水口に
落ちた場合、排水栓の軸を
ヘアキャッチャー中心の穴に
合わせて差し込み、数秒吐水
した後、取り上げてください。



●「自分でできるメンテナンス」については、ホームページで詳しくご紹介しています。
http://sumai.panasonic.jp/

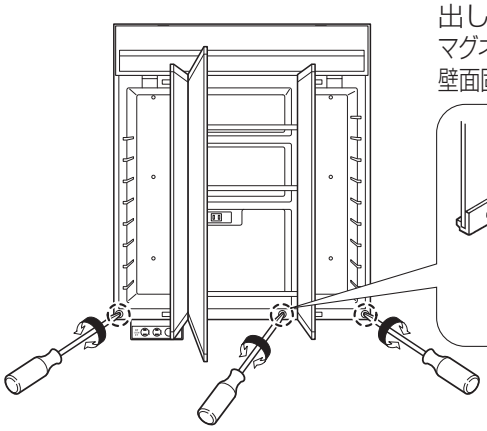
このようなときはQ&A

下記の内容を確認しても直らないときは、お買い上げの設置業者にご連絡ください。

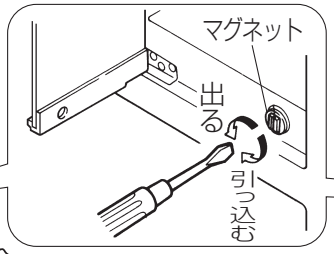
Q ミラーがしっかり閉まらない、面段差がある

A マグネットの飛び出し量を調整する

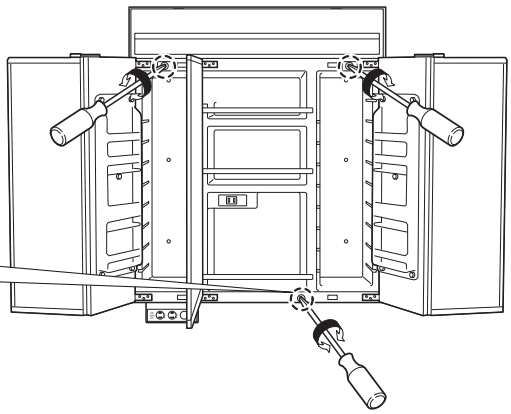
■３面鏡タイプ



面段差をマグネットの飛び出し量で調整する。
マグネットで調整しきれない時は壁面固定をやり直してください。



■両開き３面鏡タイプ



Q くもりシャットミラーのくもり止めの効果が落ちてきた

A 無色透明な食器用洗剤（中性）を5倍に薄め、柔らかい布に付けて軽くふく

●くもりシャットミラーは、表面に水アカなどの汚れが付くとくもりやすくなります。
そのときは、無色透明な食器用洗剤（中性）を5倍に薄め、柔らかい布に付けて軽くふいてください。
（ガラス用クリーナーよりも効果があります。）

●より効果の高い「くもりシャットミラー専用洗剤」（品番:GQD11KS2）も用意しております。
ハイ・パーツショップ（裏表紙）にお電話でご相談ください。

Q くもりシャットミラーにうがい液などの色がついてしまった

A 一度色が付いてしまうと取れません(特に毛染液)ただし、濃さや時間によっては取れる場合があります

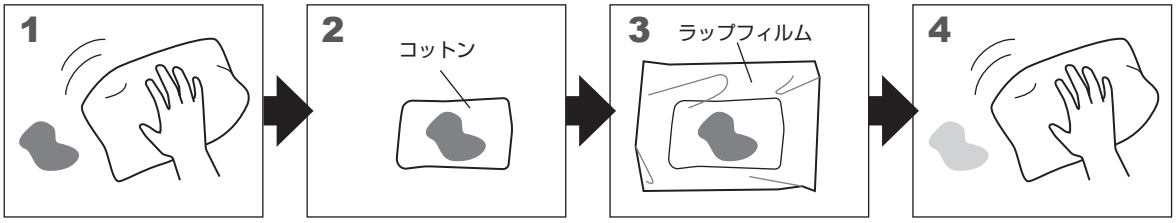
1 ミラー表面のうがい液や毛染液などが付いたところを無色透明な食器用洗剤（中性）を5倍に薄め、きれいな布に付けて、軽くふく。
（指先などで強くふかない。）

2 無色透明な食器用洗剤（中性）を5倍に薄めたものをコットンに含ませ、液（色）の付いたところに貼り付ける。

3 その上をラップフィルムでおおう。

4 約1時間放置後、ラップフィルム・コットンを取り外し、水をふくんだきれいな布でふく。

5 **2**～**4**を繰り返す。

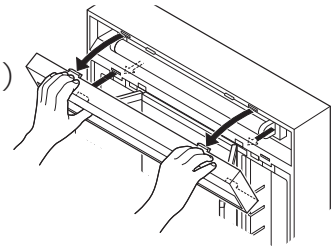


このようなときはQ&A

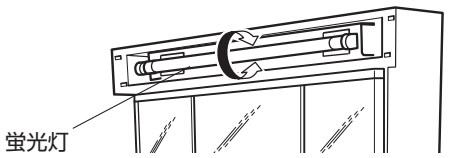
Q 蛍光灯が点灯しない（蛍光灯タイプ）

A1 蛍光灯の角度を確認し、直す

1 照明カバーを外す。
（照明カバーの外しかたは
11ページをご参照ください。）



2 蛍光灯の角度を直す。

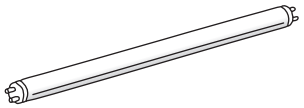


※イラストは、蛍光灯3面鏡タイプ。

それでも点灯しなければ

A2 蛍光灯を交換する

蛍光灯



（交換可能蛍光灯）

家庭用直管蛍光灯・スタータ形 20形　管長580mm

Q LED照明が暗くなってきた

A 設置業者または裏表紙に記載のお客様相談窓口に連絡をする

●4万時間の点灯で約70%の照度になります。

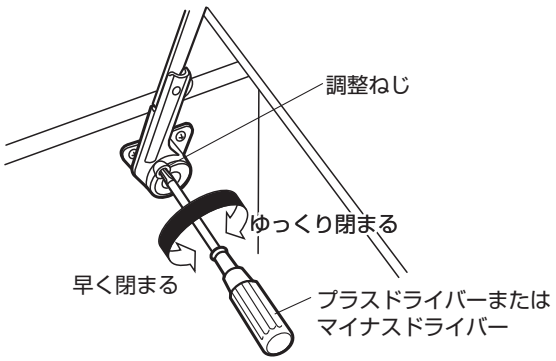
Q LED照明が点灯しない

A 電源を切り、設置業者または裏表紙に記載のお客様相談窓口に連絡をする

●LED照明が万が一故障の場合は、器具交換となります。
設置業者または当社お客様相談窓口にご相談ください。

Q 踏板の閉まる速度が早い、または遅い（ステップストッカータイプのみ）

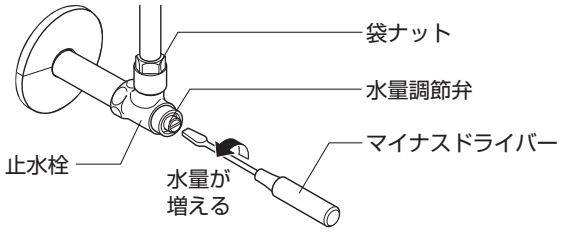
A ソフトダウンステーの調整ねじをまわして、閉まる速度を調整する



※早く閉まりすぎると、閉めたときに
指を踏板と本体との間に
はさむおそれがあります。

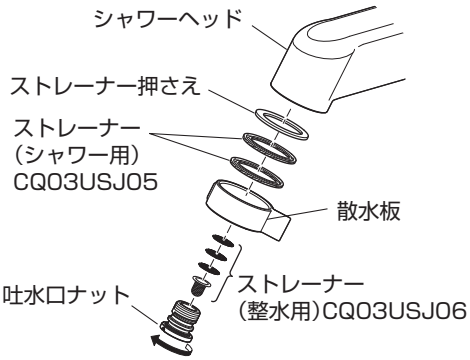
Q 水の出が悪い※貯湯式給湯器の場合は、圧力が低いために湯の出が悪くなることがあります。

A1 止水栓を開く



それでも悪ければ

A2 ストレーナー･散水板の点検



※詳細は、水栓の取扱説明書をご参照ください。

- 吐水口ナットを取り外してストレーナー･散水板を水洗いしてください。

※ストレーナーが出てこない場合は、マイナスの精密ドライバーや安全ピンなどでストレーナーを引っ掛けて取り出してください。

お願い

- 分解するときは、部品をなくさないように注意してください。
- 取り付け後、水を出し接続部から水漏れがないか確認してください。

それでも悪ければ

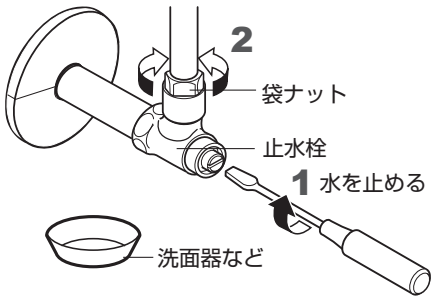
A3 給水･給湯ホースのねじれを直す

※袋ナットをゆるめた際、配管内に残っている水が出ますので、作業前に止水栓下に水を受けるための洗面器などを用意してください。

1 止水栓を完全に閉める

2 袋ナットをゆるめ、ホースのねじれを直す

3 袋ナットを締め、止水栓を開く



⚠注意

必ず守る

止水栓の袋ナットをゆるめるときは、給湯管が十分冷めてから行う
お湯を使用した直後に給湯管に触れるとやけどのおそれがあります。

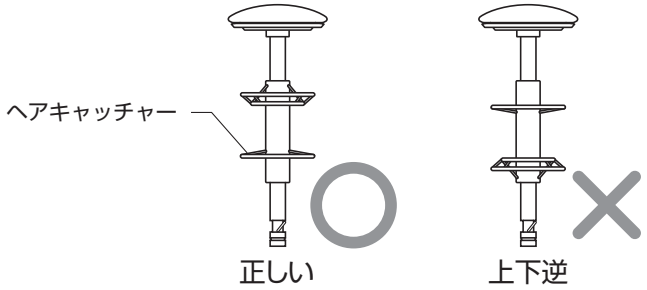
止水栓の袋ナットは確実に締め付け、水漏れがないか確認する
水漏れ、拡大損害の原因となります。

このようなときはQ&A

Q 排水栓が閉まらない･動かない

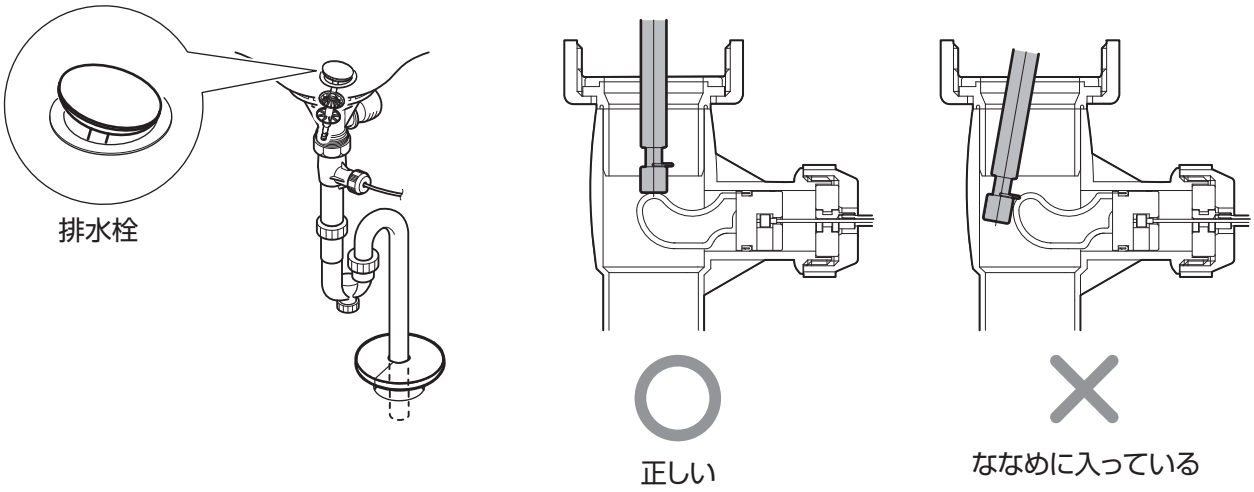
A1 ヘアキャッチャーが上下逆になっていないか確認する

ヘアキャッチャーが上下逆になっている場合は、
ヘアキャッチャーを取り外して、正しい向きに付け直してください。



A2 排水栓がななめに入っていないか確認する

排水栓がななめに入っている場合は
排水栓を引き抜いて、垂直に差し込んでください。



Q 排水(水ヌケ)の流れが悪い(水がボールからあふれ出す原因となります。)

A1 ヘアキャッチャーが上下逆さまになってないか確認する

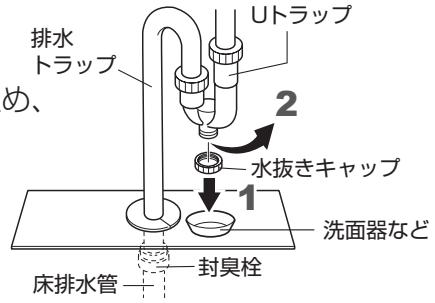
ヘアキャッチャーのお手入れ手順は、18ページをご参照ください。

それでも排水の流れが悪ければ

A2 Uトラップのごみを取り除く

※水抜きキャップをゆるめた際、Uトラップに残っている水が出るため、洗面器など水を受けるものを用意してください。

1 水抜きキャップを外す。
2 Uトラップからごみを取り除く。



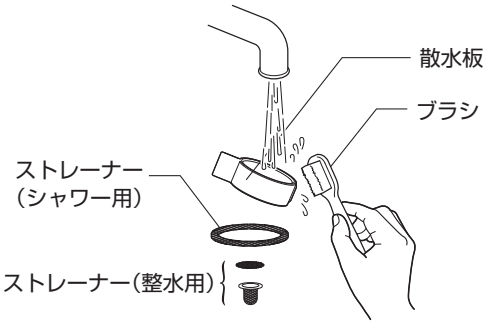
⚠注意

禁止	**清掃時に排水トラップ・封臭栓を取り外さない** 水漏れ・拡大損害の原因となります。	必ず守る	**Uトラップの清掃後、水抜きキャップを確実に締める(水抜きキャップは手締めする)** **取り付け後、水漏れがないか確認する** 水漏れ・拡大損害の原因となります。

※水栓から湯水を出したときに、排水栓を開いてもボール底の水位が上がっていく場合は、水栓の水量が多すぎることがあります。キャビネットを開けて、止水栓をしぼり、水量を調整してください。

Q シャワーの水切れが悪い

A 散水板とストレーナーを流水で洗う ※詳しいお手入れ方法は、水栓の取扱説明書をご参照ください。

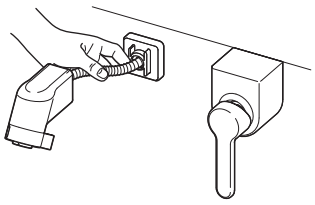


止水直後の水滴について

吐水口の清掃をおこなっていただいても水を止めた直後にシャワーから水がポタポタ落ちることがありますが、これはシャワーヘッドの中の残留水です。
異常ではありません。

Q シャワーホースの収納が固い、しにくい

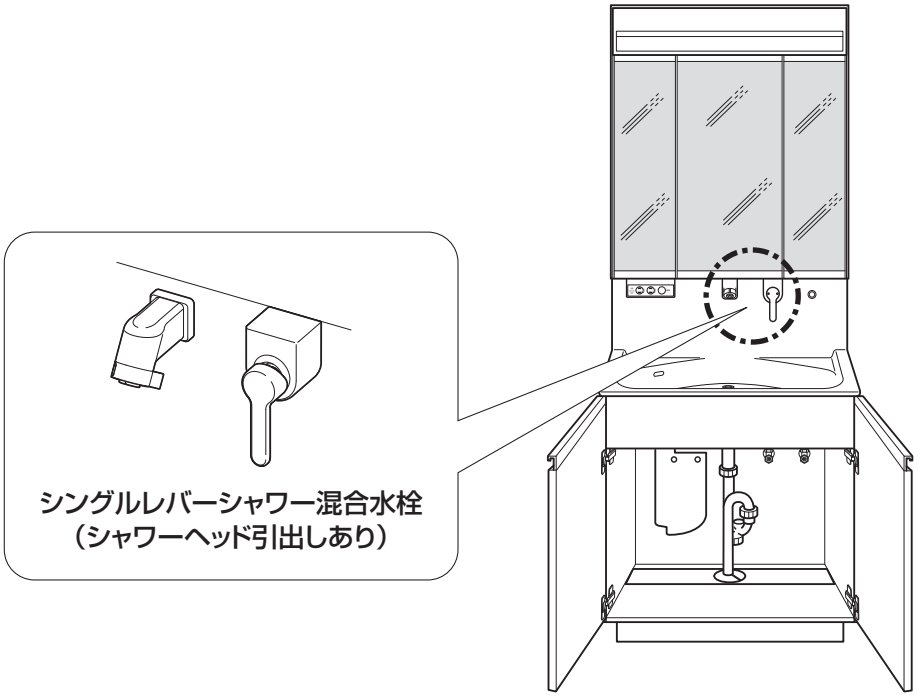
A ホース根元に手を添えて収納する



このようなときはQ&A

Q 水受けタンクに頻繁に水がたまる
シングルレバーシャワー混合水栓（シャワーヘッド引出しあり）の場合

A シャワーホースパッキンを確認して、劣化している時は交換する



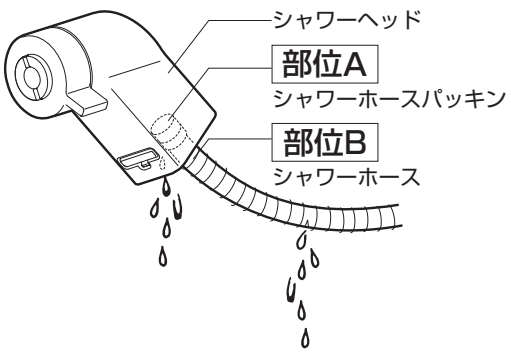
※タッチレス水栓タイプで水受けタンクに頻繁に水がたまる場合は、製品に付属の説明書をご参照ください。

●長年お使いいただくと、シャワーホースパッキン、シャワーホースが劣化して水漏れが発生し、水受けタンクに頻繁に水がたまります。
下記の水漏れする部位の例をご参考に、劣化した部品の注文･交換を行ってください。

●消耗品･交換部品の購入は、お買い求めの設置業者または、ハイ･パーツショップ（裏表紙）にご連絡ください。
（お客様ご自身で交換が困難な場合、または交換されても水漏れが止まらない場合は、お客様相談窓口（裏表紙）にお電話でご相談ください。）

部位A：シャワーヘッドとシャワーホースの連結部から水漏れする場合
→シャワーホースパッキンの劣化が考えられます。

･シャワーホースパッキン（品番CQ03USJ03「1個入り」を2個注文頂き、シャワーホースパッキンの交換を行ってください。（交換方法は右ページをご参照ください。）



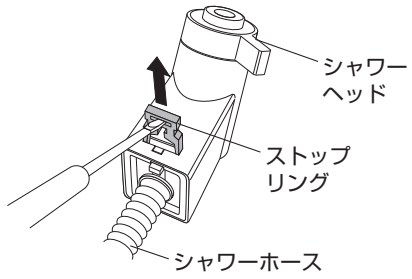
部位B：シャワーホースから水漏れする場合
→シャワーホース自体の劣化が考えられます。

･お客様相談窓口（裏表紙）にお電話でご相談ください。

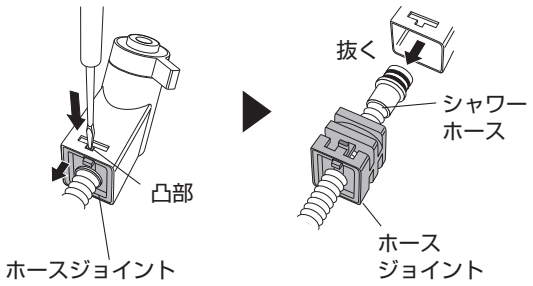
■シャワーホースパッキンの交換方法

※詳しいシャワーホースパッキン交換方法は、水栓の取扱説明書をご参照ください。
※シャワーホースをシャワーヘッドに取り付けるときは、逆の手順で取り付けてください。
　特に、シャワーホース押さえ（シャワーホース）は、確実にシャワーヘッドに差し込んでください。

1

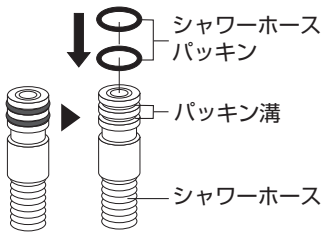


シャワーホースを引き出します。
マイナスドライバーなどを使用し、
ストップリングをシャワーヘッドから抜きます。



凸部を押し下げ、ホースジョイントを
抜きます。

2



消耗品･交換部品の購入は、お買い求めの販売店･工事店または、ハイ･パーツショップ（裏表紙）にご連絡ください。

仕　様

■本体キャビネット

洗面ボール	有機ガラス系樹脂
	容量=750:26L　900～1200:18L
キャビネット	木製(化粧パーチクルボード)
扉	木製(化粧パーチクルボード)
水栓	シングルレバーシャワー混合水栓(シャワーヘッド引出しあり)
	シングルレバーシャワー混合水栓(シャワーヘッド引出しなし)
	シングルレバーシャワー混合水栓(タッチレスセンサー水栓)
排水装置	レリーズ式ポップアップ排水栓(ヘアーキャッチャー付)
排水管	直管Sトラップ(封臭栓付)
キャスター	金属製、合成樹脂製　※ステップストッカータイプのみ
ロックバー	金属製、合成樹脂製　※ステップストッカータイプのみ

■ミラーキャビネット

本体			合成樹脂製			
照明		蛍光灯	20W蛍光灯			
		LED	750、900:14.4W	1000:16.6W	1200:19.1W	
		ツインラインLED	14W			
		手元LED	高輝度白色LED3.3W　※手元LED照明付タイプのみ			
照明スイッチ			プッシュ式スイッチ			
コンセント			4個口、合計1400Wまで			
電源			AC100V横型プラグ付電源コード(直結配線可能)			
ミラー			フロート板硝子5㎜厚(センターミラーのみ防曇膜処理)			
	750	蛍光灯	センターミラーサイズ	330×704(㎜)	サイドミラーサイズ	193.5×704(㎜)
		LED		330×833.5(㎜)		193.5×833.5(㎜)
		ツインラインLED		347.5×851(㎜)		164×851(㎜)
	900	蛍光灯		397×704(㎜)		235×704(㎜)
		LED		397×833.5(㎜)		235×833.5(㎜)
		ツインラインLED		347.5×851(㎜)		235×851(㎜)
	1000	LED		497×833.5(㎜)		235×833.5(㎜)
		ツインラインLED		447.5×851(㎜)		235×851(㎜)
	1200	LED		497×833.5(㎜)		335×833.5(㎜)
		ツインラインLED		447.5×851(㎜)		335×851(㎜)

■ミラーキャビネット(1面鏡、スイッチコンセントタワー、照明器具)

	750タイプ	900タイプ
ミラー	フロート板硝子5㎜厚(センターミラーのみ防曇膜処理)	
	699×728(㎜)	849×728(㎜)
照明	20W蛍光灯	
スイッチコンセントタワー	合成樹脂製	
照明スイッチ	プッシュ式スイッチ	
コンセント	2個口、合計1400Wまで	
棚(下サッシ)	アルミ	
エチケットケース	合成樹脂製	

■サイドキャビネット・天袋

キャビネット	木製(化粧パーチクルボード)
扉	木製(化粧パーチクルボード)

■タオルバー・スライドタオルバー

本体部	合成樹脂製、アルミニウム製

■サイドカウンター

カウンター本体	アルミニウム製

■ランドリーラック

ラック本体部	アルミニウム製
レール部	金属製

Panasonic

出張修理

洗面化粧台保証書

※お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話番号	
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

※お引き渡し日	年　月　日
シリーズ・品番	
保証期間	お引き渡し日より　本体2年間 但し 電気部品　1年間

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1 .取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様相談窓口にご相談ください。
（ハ）この製品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2 .ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

3 .保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

（イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障および損傷
（ロ）消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキンなど）の取替えや修理、ストレーナーのゴミ詰まりなどによる故障および損傷
（ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
（ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障および損傷
（ホ）車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
（ヘ）仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの
（ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
（チ）維持管理の不備による水漏れ、膨れ、汚れ、さび、給水管、排水管の詰まり等の不具合
（リ）第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合
（ヌ）犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの行為に起因する故障および損傷
（ル）取付設置説明書に記載された方法以外の設置内容に起因する損傷や故障
（ヲ）建築躯体の変形など対象製品本体以外の不具合に起因する故障および損傷
（ワ）異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧、周波数）の使用および異常水質による故障および損傷
（カ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
（ヨ）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
（タ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
（レ）本書のご提示がない場合
（ソ）保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
（ツ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
（ネ）タバコの火、製品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤など）の使用により発生した損傷

4 .本書は日本国内においてのみ有効です。

5 .本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

6 .お客様ご相談窓口は次頁をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL（代表）06−6908−1131

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（27 ページ）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 2 年間
（但し、電気部品は 1 年間）

■補修用性能部品の保有期間 7 年

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

ライセンス契約対象品について ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とのライセンス契約が終了した場合は、同部品での代替品の提供はできなくなります。あらかじめご了承ください。

修理を依頼されるとき

■まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番 ※品番記載位置は 2,3 ページをご覧ください。
③お引き渡し日
④異常の状況（できるだけ具体的に）

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。 パナソニック 検索 http://panasonic.co.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト ハイ・パーツショップ 検索 http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用
フリーダイヤル 0120-055-802（ゴーゴー バーツ）
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】月～金 /9:00～19:00
土・日・祝日 /9:00～17:00
※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引の販売ルートへお問い合わせください。
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ **修理サービスサイト** http://sumai.panasonic.jp/support/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ **修理ご相談窓口**
フリーダイヤル 0120-872-150（バナニ イコー）
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】365 日 / 9:00～20:00
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090

商品のお問い合わせは

パナソニック **総合お客様サポートサイト** http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-878-365（バナハ 365日）
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】365日 / 9:00～20:00
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187
●FAX ……フリーダイヤル 0120-878-236

音声ガイダンスを短くするには	案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「670＃」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用の洗面化粧台の点検を！

こんな症状はありませんか？

- ●照明スイッチの操作が不確実。
- ●照明を点灯中にこげ臭いにおいがする。
- ●触ると電気（ビリビリ）を感じる。
- ●スイッチやコンセント部がさわれないほど熱くなっている。
- ●タッチレス水栓の操作が不確実。
- ●タッチレス水栓を使用中にこげ臭いにおいがする
- ●その他の異常や故障がある。

▶ このような症状のときは、故障や事故防止のため、照明スイッチを切り、タッチレス水栓の使用を止めて、コンセントから使用中の電気器具のプラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2013
DC0613-1123